

令和3年度決算

下野市の令和3年度の決算がまとまり、9月開催の市議会定例会で承認されましたので、お知らせします。

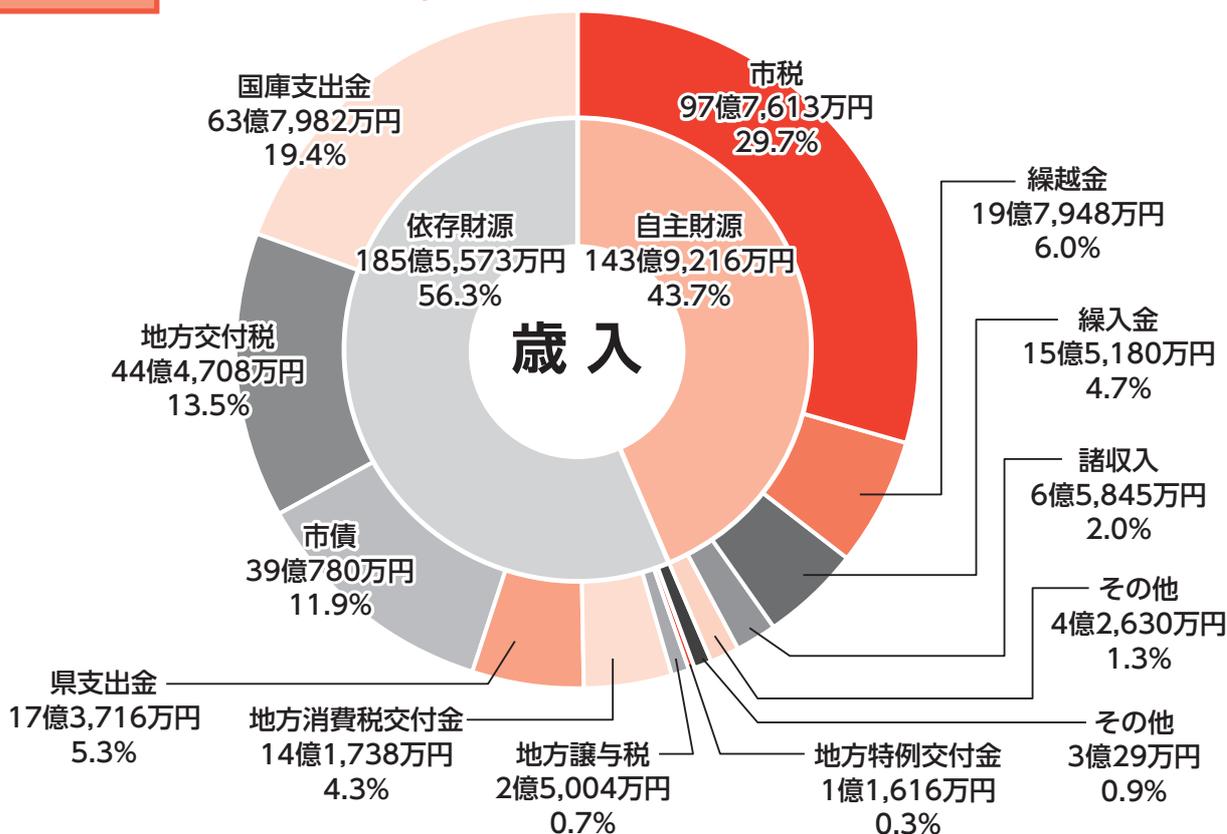
● 一般会計の決算規模と収支

令和3年度の一般会計、特別会計及び水道・下水道事業会計を合わせた決算額は、歳入総額493億2,535万円、歳出総額462億6,466万円となりました。

一般会計については、歳入総額が329億4,789万円、歳出総額が301億9,401万円で、前年度に比べて、歳入が29億2,894万円、8.2ポイント減少し、歳出も37億334万円、10.9ポイント減少し、歳入と歳出の差引額は、27億5,388万円となりました。

● 一般会計

歳入の状況 329億4,789万円



市税収入の減少

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う特例措置の影響による固定資産税等の減により、前年度に比べて1億1,806万円、1.2ポイントの減となりました。一方、市税全体の徴収率は97.6%で、前年度に比べて0.2ポイントの増となりました。

地方交付税の増加

普通交付税は国の補正予算に基づく事業を円滑に実施するための追加交付等により、前年度に比べて6億3,728万円増の38億7,452万円となりました。特別交付税は前年度に比べて5,928万円増の5億7,242万円となりました。地方交付税全体では、前年度に比べて6億9,656万円、18.6ポイントの増となりました。

国庫支出金の減少

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における特別定額給付金給付事業の補助金等の減により、前年度に比べて41億6,071万円、39.5ポイントの減となりました。

県支出金の減少

農地・農業用水利施設の整備を実施し、経営規模の拡大や農作物の生産を振興するための農地耕作条件改善事業の補助金等の減により、前年度に比べて6,477万円、3.6ポイントの減となりました。

市債の増加

公共施設等適正管理推進事業債や臨時財政対策債等の増により、前年度に比べて7億6,880万円、24.5ポイントの増となりました。

